定めて軍ハ明日の卯刻と御ハ敵寄せると思ひ油断すべ
し然るに敵ハ明日一二の備を本のおくに置
を焚いて松へと陣五陣ハ三度ともに松明を燃さば陣
より申すべきに廿町計以下へ廻り筏を組て橋を渡し
て二つの川を越と越えて田を河を上り敵の後へ
まわりて中寺田より鉄砲を打て火を放焼るべし一度に
左の河原より陣地を攻て横合より焼も出陣も出家次
第に合すべ鬼を如く山形武者たりとも前の河く
逆茂さえる事の中なりと深くけまとば皆此後を同
じて有るハ思陣へ板蕗勢討堅く禁制と御書させ
無実にて相詞ハ家を定めて人まと家を破らせ銭橋
を架けさせ小鉄砲四下を渡して三千騎人の兵
ども松明を燃さば重ね長るの兵を結び鑾を巻き
てこまたなりて敵の後と百廻けるを外の野を
寺田村へ入り夜の白らむ頃ほひ寺田村を出陣し敵
の後より中野へ寄る最上勢是をば知らば軍ハ
夜明けてそあらん育まハ思陣へ板蕗勢討と制
しぬるとば今夜ハ休まてくつろけと歩順をなどと